

特別研修 化学・物理・生物



“特研”受講生の声

物 理

・実践形式の授業は自分に合っていて、授業回数を重ねる毎に学習意欲が貪欲になっていき、最終的には「25回では足りない！もっとやりたい！」と思うほどでした。また、細かな部分まで添削してもらえたことも励みになりましたし、そうした実践と添削の積み重ねが合格に繋がったんだと思います。“特研”を受けてよかった！

生 物

・授業は「記述力・思考力」を要する問題を中心に構成されているので、これが解けると「自分には出来る！」という大きな自信になりました。

・丁寧に添削してもらえたおかげで「もっとやろう！」という気持ちになったし、何より、生物という分野そのものの面白さを教えてもらえる授業だったからこそ楽しく学び続けられました。

化 学

・受験する上で得点源として押さえておくべきポイントを突き詰めた、発展的な問題が多かったですが、実際の予備校の授業と同じレベルの密度で丁寧に教えてもらえるので、毎回きちんと復習することで十分授業についていけました。

・化学は基礎固めが大事だと思うので、応用問題だけでなく基礎になる知識もしっかり学べるところがちょうど良かったです。

特別研修 英語作文・小論文



概要

この講座では、大学入試の英語作文・小論文に必要とされる作文技術と読解技術を基礎から教えていきます。近年の大学入試ではこれまで以上に「読む力」と「書く力」が問われるようになってきました。例えば、国公立・私立問わず多くの医学部では「志望理由書」あるいは「小論文」が入試に課されています。また、ほとんどの国公立大学では自分の意見を英語で書く問題が出題される傾向がますます高まっています。教科書・参考書の知識をただ暗記したり、与えられた情報を受動的に処理したりするだけではこれらの入試問題には対応できません。課題文あるいはテーマというかたちで与えられる他者の見解を的確に把握する「読解力」、そして把握した情報に基づいて他者へとわかりやすく自分の意見を伝える「表現力」、この2つの力が受験生には求められています。

本講座では問題演習と解説をするだけでなく、講師自身が答案を添削し、一回ごとの授業でレベルアップできるような生徒一人一人に合わせたアドバイスをします。また、日本語と英語の両方で読解・作文に取り組むことで国語・英語の基礎能力向上も期待できます。



授業の進め方

① 解答作成に必要な知識・書き方の解説



② 英語作文と小論文のどちらか1つを選択して自分の解答を作成する



③ 講師からアドバイスを受けながら解答を仕上げる



④ 授業後、講師が答案を添削し、次回の授業で返却



小論文・英語作文 2019年度 授業予定表

授業のテーマ	英語作文	日本語小論文
1 志望理由の書き方	自分の将来像を英語で述べる (新潟大・弘前大等)	志望理由書 (医学部共通)
2 賛成・反対を述べる意見論述(1)	テーマ題型 (弘前大・秋田大・ 新潟大・日本医科大等)	テーマ題型 (東北医科薬科大・杏林大・昭和等)
3 賛成・反対を述べる意見論述(2)	課題文型 (東北大・福島県立医科大等)	課題文型 (岩手医科大・北里大・日大等)
4 具体的な提案・事例を述べる意見論述(1)	テーマ題型 (弘前大・秋田大・ 新潟大・日本医科大等)	テーマ題型 (東北医科薬科大・杏林大・昭和等)
5 具体的な提案・事例を述べる意見論述(2)	課題文型 (東北大・福島県立医科大等)	課題文型 (岩手医科大・北里大・日大等)
6 課題文の要旨を踏まえた意見論述(1)	課題文型 (東北大・福島県立医科大等)	要約＋意見論述型 (獨協医科大・自治医科大等)
7 課題文の要旨を踏まえた意見論述(2)	課題文型 (東北大・福島県立医科大等)	要約＋意見論述型 (獨協医科大・自治医科大等)
8 人間の心理・感情に関する問題	友人に対する助言・手紙 (新潟大等)	医師—患者関係 (東北医科薬科大・自治医科大等)
9 疾病・障害に関する問題	疾病・障害の捉え方 (福島県立医科大・秋田大等)	疾病・障害の捉え方 (福島県立医科大後 期・岩手医科大・獨協医科大等)
10 生物・環境に関する問題	生態系・環境問題 (福島県立医科大等)	生態系・環境問題 (福島県立医科大後 期・秋田大後期・獨協医科大等)
11 社会制度に関する問題	少子高齢化・医療制度 (北大・ 秋田大・福島県立医科大等)	社会保障・公衆衛生 (東北医科薬科 大・獨協医科大・北里大等)
12 最先端技術に関する問題	情報技術 (東北大・秋田大・新 潟大・筑波大等)	医療技術 (獨協医科大・北里大等)
13 言語・文化に関する問題	外国語学習・異文化交流 (東北 大・弘前大・新潟大等)	医師に必要とされる教養 (東北医科薬 科大・岩手医科大・自治医科大等)

※授業でとりあげる問題は受講生の志望大学に応じて決定します。